

第4回 がんばれ西高!

山陰中央新報「ヤングこだま」欄 3度目の登場!

今回は、3年5組の長谷川安希さん、
金村真帆さん、持田歩夢さんの文章です。

山陰中央新報

読者のひろば

母子家庭の現状を知って

3年 長谷川安希
母子家庭と言ったとき、皆さんはどう思うだろうか。私がこころを書くのは、母子家庭の現状を知ってほしいから。
私の父母は私が小学三年生の時離婚し、私は母に引き取られた。私は今高校生だが、父とは時々会っている。高校の入学金を払ってくれたり、遠征がある時でも援助してくれることもある。離婚について複雑な気持ちはないが、父に会えることがうれしい。母が会っても良いと言ってくれているからだ。世の中には離婚後は会えない人もいる。それは裁判で決まっていたり、母親が「会ってはいけない」と言っていたりするからだ。経済的には離婚前より苦しくなった。今は母方の祖父母に助けられている。母子家庭であるがゆえに大学に行けない人もおかしではない。

信用できず安全なサイトを

3年 金村 真帆
「第三世界」という「普歌フル」のサイトがある。私は友達に勧められたが、サイト上の事情により登録できなかったことが残念だった。しかし先日記法通信・著作権法違反の容疑でサイトをなくなった時は驚きを隠せなかった。今回はこのニュースについて考えてみる。
私が強く思うのは、登録していた利用者が今後どうすればいいのかということだ。それは利用者の中に「自分は無罪だ」という確信ではなく、「自分も罪になるのか」という不安が生まれるからである。
常識的に考えれば利用者は何も知らなかったわけだから、無罪だと考えた。でもおかしではない。

漢字能力を備えた大人に

3年 持田 歩夢
今、日本は全国的な漢字アームにわたっている。その一つの要因はやはり、漢字の読み間違いで話題になった麻生総理の影響だろう。
そんな中、二月初めの新聞に「漢検協会本部を立ち入り検査」という見出しの記事があった。その記事によれば、公益法人である漢検協会（日本漢字能力検定協会）は、必要以上に利益を上げているとされている。
だが、これだけ全国的に漢字アームになれば、漢検を受ける人が増えて利益が増えるのは仕方がないことだろう。しかし、検定を受ける人が増えた分、一回の受験料を安くすれば、もっと気軽に受けることができるのにと少し期待している。

自分たちの意見、考えを文章にして、表現することって素晴らしいことですね。